(株)ふよう堂刊(伊能図)

小江戸めぐり

佐原観光マップ

日本遺産認定　北総四都市江戸紀行 江戸を感じる北総の町並み
ユネスコ無形文化遺産登録　佐原の山車行事

佐原観光プロモーション推進協議会
香取市・佐原商工会議所・
本郷佐原観光協会・小江戸さわらの会

ユネスコ無形文化遺産登録

江戸優り 佐原の大祭

国指定重要無形民俗文化財

7月と10月の年2回、市内が熱気であふれる佐原の大祭は、約300年の伝統を引き継ぎ、国の「重要無形民俗文化財」に指定されています。夏は10台、秋は14台の勇壮豪華な山車は、哀調漂う佐原囃子の音と共に、時に優雅に、時に豪快に町の中を曳き廻されます。

夏祭り 山車10台
7月10日以降の連続した
金・土・日曜日

秋祭り 山車14台
10月
第2土曜日を
中日とする
金・土・日曜日

八坂神社 (D-6)

小野川より東側、本宿の鎮守、氏神様で祭神は素戔嗚命です。諏訪山天王台に鎮座していた牛頭天王社（祇園精舎の守護神）を江戸初期頃遷宮。明治の神仏分離時、八坂神社と改名されました。現在の社殿は明治20年の建築で、社宝には市指定文化財の神輿一基と「祇園感応天王宮、神祇伯資延王」の扁額があります。境内には「山車会館」があります。

諏訪神社 (E-1)

小野川より西側、新宿の鎮守、氏神で祭神は建御名方神（大国主命の子）です。市史によると伊能家の氏神として東漸（成田市伊能）したのが始まりといわれています。現在の社殿は慶永6年（1853）の造営で神域には琴平神社（航海の神）布平社（穀市の神）松尾神社（酒の神）等、佐原の歴史に深く結びついた史跡が多くあります。

香取市ホームページをご覧ください。

水郷佐原山車会館

香取市佐原イ3368☎0478-52-4104
◆開館時間　9:00~16:30
◆交　通　JR佐原駅より徒歩15分
◆駐 車 場　無料20台(大型可)
◆休 館 日　月曜(祝日の場合は開館し翌平日が休館)・年末年始
※詳細はホームページをご確認下さい。

ユネスコ無形文化遺産登録の「佐原の大祭」

山車2台常時展示!
※祭り開催中等は1台展示となります。

高さ9メートルにもおよぶ山車を2台並べ、迫力ある映像とともに、関東三大山車祭り「佐原の大祭」の雰囲気を伝えてます。夏祭りと秋祭りの山車は、それぞれ一つで正面飾りの作、名工の手による大太鼓や精巧な彫刻などの山車飾りに、佐原の粋が詰まっています。

★個人
大人……400円　小・中学生…200円

★団体(15名以上)
大人……350円　小・中学生…150円

伊能忠敬記念館とセットでお得な共通入館券
○大人・800円　○小・中学生…350円

伊能忠敬

国宝　大日本沿海輿地全図
(東京国立博物館蔵)

日本で初めて実測による全国地図を作った伊能忠敬は、延享二年(一七四五)に上総国山辺郡小関村に九十九里町で生まれました。その後下総国香取郡佐原村の伊能家へ婿に入りますが、そのとき忠敬は十七歳、妻のミチは一二歳でした。当時の伊能家は米の売買や酒造りなどを営む大きな商家で、佐原村名主組の名主を務める家柄でした。もともと学問が好きだった忠敬は商家の合間に天文学や算学の勉強を続け、四十九歳で隠居してからは江戸へ出て本格的に勉強を始めます。そして五十五歳から十回にわけて全国測量を行いました。その間歩いた距離は約三万五〇〇〇キロ（地球一周分）にもなります。測量の成果は大日本沿海輿地全図として結実しますが、それは七十二歳で忠敬がなくなった二年後のことで、弟子達の努力によるものでした。

記念館所蔵の伊能忠敬関係資料（三四五点）は、平成二十二年六月二十九日に国宝に指定されました。

国指定史跡　伊能忠敬旧宅

◆開館時間　9:00~16:30
◆交　通　JR佐原駅より徒歩10分
◆駐 車 場　近くに町並み観光駐車場(70台)があります
◆休 館 日　年末年始
伊能忠敬が30年余りを過ごした江戸時代の店舗の一部と表門、土蔵がその当時残されています。当時は酒造商を営み、店舗は倉庫を改築したものといわれています。

伊能忠敬記念館

香取市佐原イ1722-1☎0478-54-1118
◆開館時間　9:00~16:30
◆交　通　JR佐原駅より徒歩10分
◆駐 車 場　近くに町並み観光駐車場(70台)があります
◆休 館 日　月曜(祝日の場合は開館し翌平日が休館)・年末年始
※詳細はホームページをご確認下さい。

豪商の当主として商才を発揮した前半生と、隠居して日本地図作成に挑けた後半生を年代順に紹介。その業績の結晶である伊能図を開示に見ることができます。

★一般
大人……500円
小中学生……250円

★団体(15名以上)
大人……450円
小中学生……200円

樋 橋

伊能忠敬旧宅前に架かる樋橋の落水音は、午前9時から午後5時まで30分間隔で聞けます。江戸時代から300年近く農業用水を送り続けた大樋の名残で、あられ落ちる水音から「ジャージャー橋」と親しまれた、その情緒ある音を再現しています。農林省の「残したい日本の音風景100選」の一つ。

香取市佐原地区広域マップ

年間パスポート販売中

市内3施設（水郷佐原あやめパーク・水郷佐原山車会館・伊能忠敬記念館）共通の年間パスポートを販売中。お求めは各施設で。
○大人…2,000円　○小・中学生…1,000円

裏面詳細表示

水郷佐原あやめパーク

扇島1837-2　☎0478-56-0411
◆開園時間　9:00~16:30
(イベント中変更有)
◆交　通　JR佐原駅よりバス30分、あやめパーク下車
◆駐 車 場　無料500台(大型可)
◆休 園 日　月曜、年末年始
(観蓮会・あやめ祭り開催中は無休)
◆入 園 料　大人／200円~800円
65歳以上／150円~700円
小・中学生／100円~400円
団体料金有(20名以上)
※12月~翌3月末で閉鎖

水郷の中心部与田浦地域に位置する水郷佐原あやめパークは、6月に約400品種150万本のハナショウブが咲き誇り、夏は300種を超すハスが楽しめます。

水郷佐原十二橋角めぐり

奥水郷観光協同組合
ノグチ食堂 ☎0478-56-1177
出 島 屋 ☎0478-56-0901
◆休 業 日　不定休
◆利用料金
(折返しコース)
1隻7,500円(1~5人)
(追加料金1,500円/人
(1周コース)
1隻8,000円(1~4人)
(追加料金2,000円/人

水郷随一の名勝として人気があり、女船頭の操るサッパ舟で巧みなトークの十二橋めぐりは水郷ならではの風情が味わえます。

国指定重要文化財　横利根関門

横利根川の利根川合流口に造られた閘門は、了年の歳月をかけて大正10年(1921)に完成し、現在も稼動している我が国最大級のレンガ造複式閘門です。利根川増水時の逆流による農と浦沿岸の広重を防ぎ、高水時でも通航できるよう築造されました。当時の優れた土木技術を知る貴重な構造物です。

小江戸さわら 小野川・町並舟めぐり

まちおこし会社ふれさわら
佐原イ1730-3☎0478-55-9380
FAX0478-55-9390
◆乗船時間　10:00~16:00
(天候・電水・減水により休有)
◆休 業 日　無休
◆利用料金　大人…1,300円
小学生…700円

ゆったりと舟に乗り綿舟に伝統的建造物を見上げれば、まちを歩いたときとはまた違った風情を感じます。佐原のまち は小野川の舟運を軸として発展しました。当時の優れた土木技術を知る貴重な構造物です。

国指定重要文化財

観福寺 (F-6)

牧野1752☎0478-52-2804
駐車場　有

真言宗豊山派の古刹。本堂・観音堂・児沙門堂・薬師堂・大師堂・鐘楼堂などの諸堂を構え、日本花除三大師の一つに数えられています。本尊は平安門の守護仏とされた聖観世音菩薩で890年の開山とされています。重要文化財の釈迦如来・十一面観世音菩薩・地蔵菩薩・薬師如来の金銅製懸仏四体があります。伊能忠敬、国文学者伊能頭明、模取魚彦などの お墓をはじめ、古い下総版碑など も残されています。

浄国寺 (E-6)

佐原イ1973☎0478-52-2621
駐車場　有

日蓮宗。約450年前に創建される。境内の赤レンガ堂には浮世絵師が絵とれ「浄行寺主」と呼ばれて親しまれ、身体健全祈願の参拝者が絶えない。本堂内には清正公が祀られている。
本 堂 の 他 に 各種セミナーに対応できる2段浮床の客 殿 を 有 する。

国指定重要文化財　香取神宮

香取1697-1　☎0478-57-3211
◆交　通　JR佐原駅から車で10分
◆駐 車 場　無料200台

御祭神　経津主大神(又の御名伊波比主大神)
国家鎮護の神、皇室守護の神として、古来皇室の御崇敬厚く奉幣使の御参向もしばしば行われた。上古より「神宮」と称せられ、古い社格では名神大社、下総国一之宮で、明治以後の神社制度に於ては官幣大社に列し、更に毎年限下の御幣帛の供進があり、6年毎に勅使御参向の勅祭社に指定されて今日に至っている。又、1、12年に1度、年年毎の式年大祭が行われる。長い歴史と伝統ある式年神幸祭では約3000人のお供による、時代絵巻さながらの豪華絢爛な行列が執り行われる。

国宝

国宝　海獣葡萄鏡

至350号線
至佐原香取IC
参道
参拝者駐車場
参道
見晴台
春亭
桜の馬場
参道
参拝者駐車場
参道
大鳥井戸
参道
参道
参道